

第5学年 国語科学習指導案

学 級 5年4組 男子17名 女子14名 計31名
場 所 5年4組教室
授業者 大川原 章郎

- 1 単元名 武田さんの説明の工夫を見つけ、その意図について話し合おう
教材名 「天気を予想する」武田康男（光村図書5年）

2 単元について

(1) 教材について

本単元は、学習指導要領第5学年及び第6学年の「読むこと」の指導目標「目的に応じ、内容や要旨をとらえながら読む能力を身に付けさせるとともに、読書を通して考えを広げたり深めたりしようとする態度を育てる。」と、「読むこと」の指導事項「ウ目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、事実と感想、意見などの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながら読んだりすること。」を受けて設定された単元である。本単元では、「筆者が自分の主張を読み手に納得させるために用いている説明の工夫を読み、その意図や効果について考えたことを話し合う」という言語活動を位置付ける。

同系列の5年生の単元では、「見立てる」「生き物は円柱形」において、双括型の文章構成をとらえ、「はじめ」と「終わり」のまとまりから筆者の主張を読み、要旨にまとめる学習を行っている。また、筆者が敢えて例外を挙げたり、自分の考えを仮定として掲げたりし、それを裏付ける証拠を述べることで自分の主張を読み手に納得させるという工夫を用いていることについても学習をしている。

本教材は、児童にとって身近でありながら、その仕組みはよく知られていない天気予報を題材とした説明的な文章である。本教材には、最初に文章全体を覆う大きな「問い」は存在しない。一つの「問い」に対する「答え」の中から新たな「問い」が生まれるということを3回繰り返す構成になっており、結論部において「科学的な天気予報を一つの有効な情報として活用しながら、自分でも天気に関する知識をもち、自分で空を見、風を感じることを大切にしたい。」と主張を述べる尾括型の文章となっている。筆者は、「問い」と「答え」を繰り返すことで、読み手の思考の流れに沿いながら、徐々に自分の主張へと導いていく工夫を用いている。また、表やグラフ、図、写真などの非連続型テキストを客観的な事実を示す資料として効果的に用いることで、読み手を納得させるような工夫もなされている。そのため、説得力をもたせるための論の進め方や資料を用いることの意図やその効果について学ぶのに適した教材である。

(2) 児童について

本学級の児童は、説明的な文章を読んだり、文章構成や筆者の主張、筆者の説明の工夫を考えたりする学習に、意欲的に取り組む姿が見られる。一学期の「見立てる」「生き物は円柱形」の学習では、文章を読んで「はじめ・中・終わり」のまとまりに分けたり、文章構成を手がかりに筆者の主張が書かれているまとまりを見つけたりすることができるようになってきている。また、要旨をまとめたり、筆者の説明のしかたの工夫について自分の考えをもったりすることもできるようになってきている。

児童は、学習に真面目に取り組むことができる。相手や目的に応じて自分の考えを上手にまとめ、分かりやすく書き表すことのできる児童もいるが、書くことに苦手意識をもっている児童も多い。また、話すことに関しては、ペアやグループの中では積極的に自分の考えを述べることのできる児童は多いのだが、全体の中では自分の考えに自信がもてない姿や、分かりやすく論理的に話すことのできない姿が見られる。友達の発言に対する自分の立場をハンドサインで表させることで、相手の考えを聴く姿勢が育ってきているので、相手の考えから自分の考えを広げたり深めたりし、目的や相手を意識して自分の考えを適切に表現する力を伸ばしていきたい。

(3) 指導について

本単元では、学習のゴールとして、「筆者が自分の主張を読み手に納得させるために用いている説明の工夫を読み、その意図について考えたことを話し合う」という言語活動を位置付ける。そのために、教材「天気を予想する」を読み、3つの「問い」と「答え」を重ねる論の進め方や、資料（表・グラフ・写真・図）を用いている筆者の意図について、自分の考えをまとめていく。

一次では、始めに資料として用いられている表やグラフ、写真、イラストをマスキングし、具体的な数値を削除してリライトした教材文「天気を予想する」を提示し、文字のみの文章を読むことの難しさから資料の大切さに気付かせるようにする。そして、資料が入った文章と比べて読み、説明の工夫について関

心をもたせ、工夫から読み取れる筆者の意図を考えるとという目的を確かめ、学習計画を立てる。

二次では、既習教材の「アップとルーズで伝える」との比べ読みをし、教材文の文章を「問い」に着目して文章構成表にまとめる。尾括型の文章構成であることを確かめ、「結論」のまとめりから筆者の主張について考え、要旨をまとめる。そして、筆者が自らの主張を読者に納得させるために、どのような説明の工夫を用いているのかを確かめるために、論の展開と資料の活用に着目して、それぞれの意図を考えていく。最後には、筆者の説明の工夫である論の展開や資料の活用は、全てが文章の要旨である筆者の伝えたいことにつながっていることをまとめていく。

三次では、教材全体を通して、自分が一番素晴らしいと思った説明の工夫を中心に、その工夫における筆者の意図や素晴らしいと思った自分なりの根拠を明確にしながらかし合合わせる。そして、本単元の学習で身に付けた力や今後の学習で生かしていきたいことについて確認し、学習のまとめとする。

3 単元の目標と評価規準

観点	目標	観点	評価規準
国語への関心・意欲・態度	・目的に応じて、内容や要旨を捉えて自分の考えを明確にしながら文章を読んでいる。	国語への関心・意欲・態度	・筆者の論の進め方や資料の意図や効果について、自分の考えをもちながら読もうとしている。
読むこと	・意見を述べた文章や解説の文章などに対する自分の考えをもつために、必要な内容を押さえて要旨を捉えたり、事実と感想、意見などとの関係を押さえてたりして読むことができる。(ウ)	読む能力	・説得力のある文章の書き方について理解を深めるために、文章構成や論の進め方から筆者の主張を捉えたり、資料に込められた筆者の意図について考えたりしながら読んだりしている。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	・文章にはいろいろな構成があり、書く目的に応じた構成がなされていることを理解することができる。(イ(キ))	言語についての知識・理解・技能	・筆者が自分の主張に説得力をもたせるために、3つの「問い」と「答え」を重ねる構成を用いていることを理解している。

4 指導計画(7時間)

段階	時	本時の目標	学習課題と主な学習活動	評価規準 観点【 】 方法()
一次	1	① 単元の学習の見通しをもち、学習計画を立てることができる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> これからの学習の見通しをもち、学習計画を立てよう。 </div> ・資料をマスキングし具体的な数値を削除したりライト文と教材文を比較し、説得力のある文章にするための工夫を見つけるという見通しをもち、学習計画を立てる。	・単元のゴールを理解し、説得力ある意見文にするための工夫について考える学習に意欲的に取り組もうとしている。 【関・意・態】(観察・発言)
二次	5	② 文章全体を読んで文章構成図にまとめ、「結論」のまとめりに着目して要旨をまとめることができる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 武田さんが一番伝えたかったことを考え、要旨をまとめよう。 </div> ・文章全体を読んで文章構成表にまとめ、使われている資料の数や種類を確認する。「結論」のまとめりから100字以内で要旨をまとめる。	・「問い」と「答え」に着目しながら文章構成表をまとめたり、尾括型の文章構成を手がかりに「結論」のまとめりから要旨をまとめたりしている。 【読む】(ワークシート) ・尾括型の文章であることを理解している。 【言イ(キ)】(発言・観察)
		③ 3つの「問い」と「答え」を重ねて説明する論の進め方に着目し、筆者の意図について考える	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 3つの「問い」と「答え」を重ねて説明する武田さんの意図について考えよう。 </div> ・筆者の説明の工夫①(論の進め方)について、3つの「問い」と「答え」を重ねる論の進め方を用	・3つの「問い」と「答え」を重ねる論の進め方を用いている筆者の意図について、自分の考えを明確にしながら読んでいる。

		ことができる。	いている筆者の意図について考える。	【読む】(ワークシート) ・3つの「問い」と「答え」を重ねる論証の技法の効果を理解している。 【言い(キ)】(ワークシート)
		④ 資料(表やグラフ、数値)を用いて説明していることに着目し、筆者の意図について考えることができる。	資料を用いて説明する武田さんの意図について考えよう。～表やグラフ～ ・筆者の説明の工夫②(表やグラフ、数値)について、資料と文章を対応させながら、筆者の意図について考える。	・表やグラフと文章を対応させながら、筆者の意図について、自分の考えを明確にしながら読んでいる 【読む】(ワークシート)
		⑤ 資料(写真や図)を用いて説明していることに着目し、筆者の意図について考えることができる。 本時	資料を用いて説明する武田さんの意図について考えよう。～写真や図～ ・筆者の説明の工夫③(写真や図)について、資料と文章を対応させながら、筆者の意図について考える。	・写真や図と文章を対応させながら、筆者の意図について、自分の考えを明確にしながら読んでいる。 【読む】(ワークシート)
		⑥ 論の展開や資料を用いた筆者の意図と要旨とのつながりについて、自分の考えを明確にしながら話し合うことができる。	武田さんの説明の意図と文章の要旨がどのようにつながっているか考えよう。 ・前時までに学習した説明の工夫についてまとめ、筆者の意図が要旨にどのように反映されているか話し合う。	・前時までに学習した説明の工夫についてまとめ、筆者の意図と要旨とのつながりについて自分の考えを明確にしながら話し合っている。 【読む】(ワークシート)
三次	1	⑦ 筆者が用いていた説明の工夫について、自分の考えを明確にしながら話し合うことができる。	武田さんの説明の工夫について、考えたことを話し合おう。 ・筆者の説明の工夫についてまとめたことを生かし、一番素晴らしいと思ったところ、今後の学習に生かしたいこと等について話し合う。	・筆者の用いている説明の工夫について、筆者の意図に触れながら、根拠を基に自分の考えを明確にしながら話し合っている。 【読む】(ワークシート)

5 本時の指導(5/7)

(1) 目標

写真や図を用いた説明の工夫を読み、筆者の意図について考えることができる。

(2) 評価と支援

評価の観点・評価規準	期待する児童の記述例	努力を要する児童への支援
【読む能力 ウ】 写真や図と文章を対応させながら、筆者の意図について、自分の考えを明確にしながら読んでいる。	武田さんは、写真や図を用いて、読み手がイメージしにくい物を分かりやすくしようとしている。また、写真を用いて、自分の願いも伝えようとしている。	板書をもとに、写真や図を用いることには2つの意図があったことを確かめさせる。写真や図が提示されていない文章と比較することで、写真や図のよさを実感できるようにする。

(3) 研究とのかかわり

【学び合いを深める工夫】

- ・写真を用いる意図についての考えを深めるために、「最後のページに使われている3枚の写真には、『分かりやすくする』以外に、どんな意図があるのだろう。」という発問を行う。
- ・1枚のワークシートに学んだ成果を蓄積させていくことで、筆者の主張や前時までの学習内容と関連づけながら自分の考えをもったり、友達と交流したりすることができるようにさせる。

【表現する力を高める工夫】

- ・写真や図を用いる意図について、グループや全体で交流したことを生かしたり友達の考えを参考にしたりしながら、自分の考えを再構成してまとめを書かせる。

(4) 展開

段階	学 習 活 動	予想される児童の反応	・指導上の留意点<>評価 ○研究内容との関わり
とらえる 5分	<p>1 課題を把握する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習計画を見て、前時の学習内容と本時の学習課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">資料を用いて説明する武田さんの意図について考えよう。～写真や図～</div> <p>2 見通しをもつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真や図を用いている筆者の意図について考えることを確かめる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・表やグラフを用いることで文章に説得力をもたせようとする意図があったことを想起させる。 ・どのような写真や図が、どの段落で用いられていたかを文章構成表をもとに確かめる。
たしかめる 25分	<p>3 自分の考えをもつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2段落前半を取り上げ、ペアで写真を指し示しながらの音読となしの音読とを聞き(読み)比べる。 ・それぞれの写真や図と対応する部分にサイドラインを引き、筆者の意図について自分の考えたことをワークシートにまとめる。 ・最後のページの3枚の写真の意図について考える。 <p>4 学び合いをする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループで、3枚の写真の意図について考えたことを交流する。 ・全体で、3枚の写真の意図について話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アメダスや気象レーダーの写真は、見たことのない人でも分かるようにするため。 ・天気予想図や静止気象衛星、航空写真は、文章だけでは分かりづらいことをイメージしやすくするため。 ・写真や図があると、筆者の意図の通り、確かに分かりやすい。 ・写真や図があると、具体的にイメージすることができる。 ・富士山のことわざを分かりやすくするため。 ・積乱雲をイメージしやすくするため。 ・天気の変化を予想するための知識を教えるため。 ・『自分で空を見、風を感じることを大切にしてほしい』という筆者の願いを伝えるため。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアで読み手と聞き手にわかれ、写真を示しながら音読をすることで、写真を文章と対応させる。 ・写真や図と対応する部分にサイドラインを引かせることで、何を分かりやすくしているのかを具体的にとらえさせる。 ○1枚のワークシートに学んだ成果を蓄積させていくことで、筆者の主張や前時までの学習内容と関連づけながら自分の考えをもったり、友達と交流したりすることができるようにさせる。 ○写真を用いる意図についての考えを深めるために、「最後のページに使われている3枚の写真には、『分かりやすくする』以外に、どんな意図があるのだろうか。」という発問を行う。 ・付け足しは青、交流を通して新しく出された考えは赤でワークシートに書き加えさせる。 ・筆者撮影の写真であることを確認し、要旨と結びつけさせる。
まとめる 15分	<p>5 まとめる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真や図を用いて説明する筆者の意図についてまとめる。<評価Bの文例> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">武田さんは、写真や図を用いて、読み手がイメージしにくい物を分かりやすくしようとしている。また、写真を用いて、自分の願いも伝えようとしている。</div> <p>6 振り返る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ふり返しシート」に記述する。 ・記述内容を発表する。 ・次時の学習内容を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・写真には、伝えたいことや願いも込められていることが分かりました。 ・写真で自分の願いを伝えていることにおどろきました。 	<ul style="list-style-type: none"> ○写真や図を用いる意図について、グループや全体で交流したことを生かしたり友達の考えを参考にしたりしながら、自分の考えを再構成してまとめを書かせる。 <評価規準> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">写真や図と文章を対応させながら、筆者の意図について、自分の考えを明確にしながら読んでいく。</div> <p>【読む】(ワークシート)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・B評価に達している児童には、表やグラフも含めた資料全般の意図について考えさせる。

